



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年06月08日 第973号「週刊五十嵐レポート」

第2波第3波に備えよ

帝国データバンクによると6月1日現在、新型コロナウイルス関連倒産が200件に到達した。100件目を確認するまで要した日数が61日。101~200件を確認するのに要した日数は35日。倒産の速度が加速している。

私が倒産記事を見ると、コロナはあくまでもきっかけに過ぎず、コロナがなくても遅かれ早かれ倒産したものと推察する。なぜなら既に赤字体質で債務超過寸前がほとんど。もしくはイケイケゴーゴーで強気の社長。財務体質の強化を考えていない社長。リーマンショックの時もそうだが、財務体質の脆弱な会社から消えて行ってしまう。逆に財務体質が盤石で営業力のある会社は不況期に伸びる。

日曜塾では「資金と経費戦略(財務)」。参加された社長の言葉、「新型コロナ禍の現況においては、手元資金を厚く持ち、無駄な経費を省きつつ、強みを生かし、お客様作りに有効な部分には費用対効果を最大化すべく熟考の上、前向きに投資すべきと改めて認識した」。「在庫は少なければ良いではなく、お客様作りを考えた、即納体制を整える(在庫を持つ。商品は粗利益を作り出す唯一の手段)」。「会社が潰れずに成長をしていくにはまず現金をしっかりとっておくこと。自分の考えている通りになる理想の会社作り、BS作りを目指す」。「社長が思う通りに会社がデザインされてゆくの、社長の精神状態を常に健全に保つこと(お金の心配がない)を意識していく」。

「ニューノーマル」はリーマン・ショックの頃に流行した言葉。かつては異常な事態が、非連続な構造的な変化が起きた「新たな常態・常識」のこと。コロナ禍(か)において環境が激変。特に飲食店が変わった(変わらざるを得ない)。赤字だろうと何だろうと店を開かなければ、生き残れない。お客の動向を見る。お客は何を欲しているのか。それに応える。お客は既に新常态。

廃業・倒産・撤退により立地のいい不動産物件が出てくる。大手飲食店の店舗開発は新規出店がストップ。資金を持つ小さな会社はこれからが出店のチャンス。この最大のピンチが最大のチャンス。いつの世も不況期に元気な会社が出てくる。

ちょっと
気になる出来事

日本赤十字社が動画「ウイルスの次にやってくるもの」を配信。きちんと手を洗うだけで、感染する確率はぐんと下がる。でも、心にひそんでいて、流れないものがある。

そいつはお腹を空かせているみたいで、暗いニュースや間違った情報をたくさん食べて、どんどん育て、そしてささやく。・・・

そいつの名前は恐怖。ウイルスの次にやってくるもの。もしかしたらウイルスより恐ろしいもの。

恐怖のささやきに耳を貸さない。恐怖から距離を取る。恐怖の嫌がることをする。恐怖の苦手なものは笑顔と日常。家族や友人と電話して笑おう。いつものようにきちんと食べて眠る。恐怖は逃げていくだろう。恐怖は誰の心の中にもいる。だから励まし合おう。応援し合おう。

コロナを正しく知り、正しく恐れる。恐怖に振り回されないこと。冷静に客観的に対処していこう。YouTubeで見たい。



一口メモ
知識

瞬間瞬間、幸福をつかまえる

「今日、幸福になるのだ」

「いまの瞬間に幸福を得るのだ」と、
瞬間瞬間、幸福をつかまえるのがブッダの道です。

「いま、わずかでも心を汚してはいけない」と、
自分を明るく励ますのです。
瞬間瞬間、心を清らかにすることに励んで、
究極の幸福にまで続く仏道を歩むのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

